

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 北興化学工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目 5 番 4 号	
本票作成	部署名：北興化学工業株式会社 岡山工場 環境安全チーム				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	化成品、農薬の製造及び農薬の販売 従業員：272人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県玉野市胸上402番地	
	②	岡山支店		岡山県岡山市北区磨屋町9番18号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 29 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	28,510 t CO ₂	26,787 t CO ₂	28,225 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	岡山工場	26,723 t CO ₂
	②	岡山支店	64 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度 (1 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	6.4 %	1.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原単位(生産金額ベース) (FC部門排出量/FC製品出来高金額)×(FC部門排出量/全体排出量)+ (農薬部門排出量/農薬製品出来高金額)×(農薬部門排出量/全体排出量)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		3.542 t CO ₂ /百万円)	3.316 t CO ₂ /百万円)	3.507 t CO ₂ /百万円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

予定どおり取組みを実施することができた。
 生産工程で、蒸気を多く使用する製品の生産量が減少によりA重油の使用量が減ったことで、エネルギー原単位が改善したことで、CO₂排出量の原単位は前年度比で、6.4%削減できた。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備
- ・ISO14001に基づき工場長をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進
- ・岡山工場にエネルギー管理部会を設置し、生産の効率化について検討

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
[30度実施分] 全社	昼休みの照明スイッチオフ
岡山工場	個々の作業工程のエネルギー消費量の把握と作業方法の改善 蒸気トラップ診断機器・サーモグラフィーによる点検と保温の改善 蒸気管理の強化(蒸気流量計の設置、蒸気配管の断熱強化) 蒸気トラップの更新(CO2削減量：10t/年) 精留塔へのドレン回収装置の導入(CO2削減量：50t/年) 車両更新の際に低燃費車の導入(2018年、1台更新) 冷凍機の更新(CO2削減量：10t/年)
岡山支店	クールビズ運動の推進
[今年度実施予定分] 全社	昼休みの照明スイッチオフ
岡山工場	蒸気管理の強化(蒸気流量計の設置、蒸気配管の断熱強化) 蒸気トラップの更新(CO2削減量：10t/年、～2021年)
岡山支店	クールビズ運動の推進

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・冷房設備の使用電力削減のため、クールビズ運動に取り組んでいる。